

## 第 22 回(平成 21 年度第 2 回) ISO/SR 幹事会 議事録

1. 開催日時 : 平成 21 年 5 月 13 日 (水) 14:00~16:00

2. 開催場所 : 弘済会館 4 階 菊 (東) 梅 (西)

3. 出席者 : 【敬称略・五十音順】 出席者(○)、欠席者(×)

委員 : 松本 恒雄(一橋大大学院)○、青木 健(連合)○、足達 英一郎(日本総合研究所)○、稲岡 稔(セブン&アイ・ホールディングス)×、逢見 直人(連合)△(代理:大久保)、長見 万里野(消費者協会)○、熊谷 謙一(連合)○、黒田 かをり(CSO ネットワーク)○、斎藤 仁(経団連)○、佐野 真理子(主婦連合会)×、関 正雄(損保ジャパン)○、富田 秀実(ソニー)○、成田 裕紀(内閣府)○、藤代 尚武(経産省)×、水谷 綾(大阪ボランティア協会)×

関係者 : 濱坂 隆×、宮澤 武明○(以上経産省)、佐藤 洋△(代理:佐藤誠)、小堀 紀子○(以上三菱総研)

オブザーバ : 網野 直英(経団連)、日野 勝吾(内閣府)

事務局 : 岡本 裕○、佐藤 恭子○、櫻井 三穂子○(以上 JSA 記)

4. 議事次第 :

- (1) 議事、資料及び前回議事録の確認
- (2) IDTF 作業報告
- (3) ケベック総会への対応について (意見交換)
- (4) 今後のスケジュールの確認

5. 資料 :

WG I -22-1 第 21 回 ISO/SR 幹事会 議事録 (案)

WG I -22-2 Quebec Discussion Document - ISO 26000 CD1 Multi-clause and Clause-specific Key Topics (N086)

WG I -22-3 Inconsistencies/ lack of clarity in wording, terms, definitions (N087)

- WG I -22-4 Quebec Key Topic 12 – Clause Specific Meeting 4 Discussion Document (N088)
- WG I -22-5 Quebec Key Topic 14 - Picking and choosing, relevance and significance, and prioritizing (N089)
- WG I -22-6 Proposed changes relating to gender responsiveness (N090)
- WG I -22-7 Proposed Agendas for Quebec Clause Specific Meetings (CSMs) (N091)
- WG I -22-8 Discussion Document on Clause 6.3 (Human Rights) (N092)
- WG I -22-9 今後のスケジュール (案)

参考資料：

- 参考資料 1 Meeting schedule – WG Social Responsibility (N162)
- 参考資料 2 ISO/TMB/WG on SR 第 7 回ケベック総会代表団構成

6. 議事概要：

6. 1 議事、資料及び前回議事録の確認

事務局から、議事及び資料の確認を行い、議題に関しては異議なく了承された。

また、幹事会規約第 7 条 2 項の成立条件に照らして、今回の幹事会がその条件を満たすことを報告し、幹事会の成立を確認した。

さらに、経団連の網野氏及び内閣府の日野氏のオブザーバ参加について紹介があり、了承された。

6. 2 IDTF 作業報告

熊谷委員から、資料 WGI-22-2～8 にしたがってバーレン会議以降の IDTF での作業について報告があった。

6. 3 ケベック総会への対応について（意見交換）

IDTF 作業報告をもとに、ケベック総会への対応について意見交換を行い、総会における対応を次のようにすることとした。

- エキスパートの意見は、コンセンサスベースで取りまとめた日本コメントを基本とするが、現地での対応は各エキスパートの判断に委ねることとした。
- 現地での分担については、一応の分担を決めておくものの、現地の朝会で適宜

調整することとした。

<主な意見>

- DSとして分類されたもののうち特に重要なものを日本団として各CSMでフォローすべき。
- 17のQKTについても、日本団としての意見を検討しておく必要がある。
- ステークホルダーの意見と日本の意見とが異なる場合には、各ステークホルダー会議で日本の意見に誘導するようにしたほうがいいのではないか。

6. 4 今後のスケジュールの確認

事務局から、資料WGI-22-3にしたがって、今後のスケジュール案の説明を行った。

次回の幹事会を、6月11日（木）13時～15時半に開催することを確認した。会場などの詳細は、決定次第事務局から連絡することとなった。

また、ケベック総会でIDTFのマンデートが変わらなければ、7月8日（水）～10日（金）にIDTFを招致する用意があることを表明する予定。日本で開催されることとなった際には、普及活動を兼ねた国内委員会向けの講演会の開催やメディアを使った広報についても検討することとなった。

以 上